

ラグビーワールドカップ2019™のファンゾーン会場候補地に関する都の考え方について

1 ファンゾーン概要

「ファンゾーンとは」

- ・ 大勢の来場者が一緒になって、パブリックビューイング等を楽しむことができる場所
- ・ ラグビーワールドカップ2019™の大会期間中に、開催都市に設置（各開催都市に最低1か所）
- ・ パブリックビューイングやラグビー体験、ケータリング等が行われるイベントスペース
- ・ チケットの有無にかかわらず、無料で入場可

主な実施内容(例)



(パブリックビューイング)



(ラグビー体験)



(ケータリング)



(会場装飾)

《RWC2015イングランド大会より》

2 都が実施するファンゾーン会場候補地についての考え方(案)

(1)設置の考え方

- ・ 大会会場(スタジアム)が所在する多摩地域に1か所設置
ただし、交通負荷軽減のためスタジアムや最寄駅の周辺は避ける
- ・ 大会期間中の全都的な盛り上げを図るため、区部にも1か所設置

(2)会場候補地選定にあたって考慮すべき事項

①立地場所

開催都市の中心部など人通りが多く、アクセスしやすい場所に設置
ただし、交通負荷軽減のためスタジアムや最寄駅の周辺は避ける

②開催日

原則、自都市での試合日、すべての日本代表の試合日、準決勝、決勝

③雨天・寒さ対策

主要コンテンツであるパブリックビューイングについての対策

④夜間(～22時)の照明・音出し対策

夕方以降の試合に合わせた照明設置や近隣への騒音対策

⑤実施経費

費用対効果の観点から、仮設経費の圧縮、コスト削減策

(3)会場候補地

上記(1)(2)を踏まえ、区部・多摩それぞれ複数の会場候補地案について検討した結果、次の会場を候補地として組織委員会と協議していく。

- ・ 区部会場 旧1000days劇場(有楽町駅徒歩1分)
(千代田区丸の内3-8-3)
- ・ 多摩会場 調布駅前広場・調布市グリーンホール(調布駅徒歩1分)
(調布市小島町2-47-1 ほか)

3 今後の進め方

今後、組織委員会から会場候補地についての承認を得るとともに、開催日数や実施内容等について組織委員会・関係機関と調整していく。